

マスチックワン施工要領書

平成29年1月



エムケービルド株式会社

適応条件


項目	適用基準
用途	横断方向広幅クラック
	ポットホール・マンホールまわり
	橋の入口部の段差
	擦りつけ
施工深さ	1cm以上
施工幅	5cm以上
施工厚	厚みが6.3cm以上の場合は2～3層に重ねて使用してください。その場合、最上層の厚みは2.5cm以下にしてください。

施工条件

- *再施工が必要なほど激しい損傷部は避けてください。
- *補修する箇所はできるだけ清掃をおこなってください。(コンクリート箇所はブラストを推奨します)
- *降雨、降雪は施工できません。
- *交差点付近の損傷個所には使用しないでください。

材料

1. マスチックワン

材料名	写真
マスチックワン	 <p>姿荷 18.4kg</p>

- *この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物収集場所に処分する。
- *雨に濡れないよう、製品にシートをかけてください。

品質管理



項目	基準値	ASTM規格	試験
色相	黒		クラフコ社が製造lot毎に試験実施
比重	2.0以下		
柔軟性	-0℃で折り曲げても割れません	ASTM D3111	
付着性	172Kpa以上		
軟化点	93℃以上		
コーン針入度(25℃)	6mm以下		
耐摩耗性	20%以下	ASTM C131	

日常施工温度管理

項目	基準値	備考
路面温度	4℃以上	
マチックワン加熱温度	190℃～204℃	
2層目充填する際の1層目の温度	93℃以下	
交通開放	40℃以下	

施工機械

1. 溶解釜 メルター30(特殊バーナー付)

溶解釜(外部)	特殊バーナー
	

2. 工具

非接触赤外線温度計	アイアンバケツ(取手付)	攪拌棒
		
スコップ	コテ (柄の部分が鉄になっているもの・溶接かビス止めのも)	
		

その他

- *消火器
- *トーチバーナー
- *プロパンガス
- *手袋
- *水
- *クイックシール(マスキングテープ)
- *バーナー
- *デタック液(交通開放)
- *珪砂



クイックシール 15m巻x5巻



デタック液 19㍓



バーナー

施工方法

施工ポイント…転圧はしません。敷き均します。

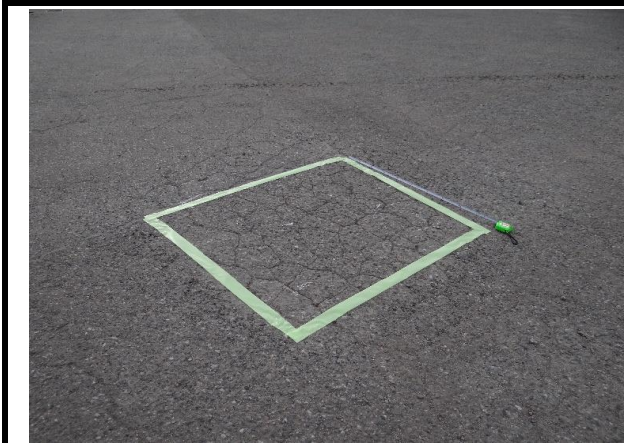
準備工	*交通規制 *安全衛生朝礼 *使用機械前使用点検 *溶解釜にマスチックワンを入れ溶解開始 (材料を投入する場合、1回で2~3箱までにしてください。)
清掃工	*補修箇所は乾燥させて、油分のない状態で、90psi(620kpa)の圧縮空気でブローし、クリーンの状態にします。 ゴミやほこりを十分に除去できない場合、硬いほうき、ワイヤーブラシ、サンドブラストきれいにすることを薦めます 注)路面補修範囲は損傷範囲より、2cm広くしてください。
マスチックワン舗設工(1回目)	*補修部の周囲に余分な材料が舗装表面に付着しないようにクイックシール(瀝青テープ)などで覆って下さい。 *加熱されたマスチックワン(加熱温度190°C~204°C)を施工面に充填する。 注)路面温度が4°C以下の場合路面を温めてください。 温めるタイミングは材料塗布10分前にしてください。 *材料は端部から流し込みます。 *熱したコテで表面を平坦にします。(但し材料が注入された時に出る泡は潰して消してください。)
マスチックワン舗設工(2回目) 深さ6.3cm以上の場合	*1層目の温度は93°C以下まで冷まし、2層目をマスチックワン(加熱温度190°C~210°C)の間で材料を充填してください。 *熱したコテで表面を平坦にします。(但し材料が注入された時に出る泡は潰して消してください。) 2層目の厚みは2.5cm以下に仕上げてください。 (但し、勾配が6%ぐらいであれば、厚みは1.5cm以下にしてください)
交通開放	*マスチックワンの表面温度が40°C以下になれば交通開放してください。 *マスチックワンは冷却するに従い、約5%収縮致します。 *材料深さ2.5cmにたしておよそ30分~60分かかります。 注)デタックを散布しますと表面のべたつきの軽減や交通開放を早く再開できます



施工注意点

- *材料は直火では溶解しないでください。引火します。
- *ミニメルター30を使用の場合
溶解するために火をつける際、一度、特殊バーナーを引き出してから火をつけてください。釜の中にガスが溜まっていると、爆発する恐れがあります。

マスチックワン施工手順



①施工前 施工範囲は損傷範囲より2cm程度広くします。養生テープを貼り付けます。(路面温度が4℃以下の場合は路面を温めてください。但し施工10分前におこなってください)



②材料溶解 ミニメルター30(溶解釜)に箱からあけて、材料を取り出し、そのまま投入し、火をつけます。



③施工面の縁の接着性が気になる場合、周りにクックシールを貼るかもしくは推奨するアスファルトプライマーを塗布してください。



④材料溶解 焦がさないように混ぜることが重要です。溶解後(190℃~210℃)でまた完全に骨材とバインダーが混ぜ合わさったことを確認後、端部から塗布します。(クックシールは101℃が軟化点です)



⑤マスチックワン敷き均し 奥から手前で敷き均します。硬化が早いので、10分程度で仕上げてください。



⑥完成前 パーナーで炙って、きれいに仕上げてください。また端部は入念に炙ってください。養生時間は30分~60分です。早く解放したい場合は、デタックを散布してください。施工温度が40℃以下で開放できます。